

## 第4章 施策の展開

### 施策1 生涯学習活動の支援体制の充実（つなぐ）

#### 取り組み1 生涯学習の情報提供・相談体制の充実

##### 現状と課題

本市では、広報紙や公式ホームページのほか、各種のポスターやチラシなどをおおして、生涯学習に関する情報提供を行っています。また、生涯学習に取り組む団体の情報を掲載した冊子「さやま学びの仲間たち」を作成し、活動団体を紹介しています。

しかし、アンケート調査の結果では、生涯学習情報の入手先として市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」及び「狭山市生涯学習情報コーナー」の割合は低くなっています。

今後は、市民が自分の目的に合った学習に関する情報を得やすくするとともに、学習活動に関する情報を発信できる環境を整えていく必要があります。

また、アンケート調査では、相談や問合せをしたいこととして「学習の方法や資格取得について」など、専門性の高い相談を求める割合も高くなっていることから、今後は、専門的な相談に対応できるよう、人材の育成を進めることが求められます。

##### 取り組みの方向性

- ◇紙媒体やインターネット、ケーブルテレビ等のICTなどの各種の情報媒体を効果的に活用し、生涯学習活動への参加に向けた情報提供の充実を図ります。
- ◇市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」を活用し、情報の発信と交流の促進を図ります。
- ◇社会教育課や公民館などの生涯学習関連施設、生涯学習情報コーナーなどを活用し、生涯学習に関する専門的かつ総合的な相談体制の充実を図ります。
- ◇生涯学習に関する様々な相談に対応できる知識や経験などを有する人材の育成に取り組めます。

##### 具体的な取り組み

#### 1 紙媒体を活用した情報提供の充実

効果的な情報提供に向けて、広報紙や公民館だよりのほか、ポスターやチラシなど、各媒体の特徴を活かしながら、生涯学習に関する情報の提供を充実します。

## 2 ICTを活用した情報提供の充実

公式ホームページやインターネット、ケーブルテレビ等のICTを効果的に活用し、生涯学習に関する情報の提供を充実します。また、民間事業者等とも連携を取りながら、多様な学習情報の提供を推進します。

## 3 生涯学習団体の情報の提供

情報冊子「さやま学びの仲間たち」の内容を充実し、生涯学習に取り組む団体の情報提供を促進します。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
「さやま学びの仲間たち」への掲載団体数	生涯学習団体に関する情報冊子「さやま学びの仲間たち」への掲載団体数	1,423団体	1,600団体

## 4 市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」の活用促進

生涯学習に関する情報の発信に向けて、市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」の活用を促進します。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
生涯学習・社会教育情報のアクセス件数	市民交流促進総合ポータルサイト内「さやマルシェ」の生涯学習・社会教育情報へのアクセス数	16,455件/月	20,000件/月

## 5 相談機能の充実

社会教育課や公民館などの生涯学習関連施設における相談機能を充実します。また、生涯学習情報コーナーにおいて、生涯学習に関する相談などに専門的かつ総合的に応じます。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
生涯学習に関する相談件数	生涯学習情報コーナーにおいて生涯学習に関する相談を受けた件数	175件/月	300件/月

## 6 人材の育成

生涯学習情報コーナー等において、市民からの生涯学習に関する問合せや相談に的確に応じるために、NPO法人さやま生涯学習をすすめる市民の会やさやま市民大学などと連携して、生涯学習に関する様々な問い合わせや相談に対応できる、知識や経験などを有する人材の育成に取り組みます。

## 取り組み2 生涯学習ネットワークの充実

### 現状と課題

生涯学習に関する情報提供の充実や、学習内容の充実に向けて、SNS等のICTを活用した市民からの情報発信と、市民間での交流の促進が一層重要となっています。

アンケート調査の結果では、生涯学習を行うことにより期待することについて、「人との交流や、新たな友人の輪を広げたい」が上位に挙がっています。

今後も、情報提供の充実や学習内容の充実に向けて、情報ネットワークの充実を図るとともに、生涯学習に取り組む団体や個人の人的ネットワークを拡充し、様々な交流を促進していく必要があります。

### 取り組みの方向性

- ◇ ICTの活用により、生涯学習に関する情報のネットワーク化を促進します。
- ◇ 生涯学習に取り組む団体や個人のネットワークを拡充します。
- ◇ 生涯学習関連施設間の連携・協力体制を充実します。

### 具体的な取り組み

#### 1 情報のネットワーク化の促進

市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」などを活用して、生涯学習に関する情報のネットワーク化を促進し、情報の交流をとおして、生涯学習の活性化に取り組めます。

#### 2 人のネットワーク化の促進

生涯学習に取り組む団体や個人のネットワークを拡充し、人の交流をとおして、生涯学習の裾野を拡大します。

#### 3 生涯学習関連施設間の連携・協力体制の充実

公民館・図書館・博物館等の社会教育施設等の間で連携して、地域住民の学習ニーズに対応した講座等の事業を実施するとともに、各施設の資源や専門性を活かした施設間の連携・協力体制の充実に努めます。

## 施策2 生涯学習の機会や場の充実（学ぶ）

### 取り組み1 生涯学習の機会の充実

#### 現状と課題

公民館などでは、生涯学習団体等と連携した生涯学習に関する講座の開設や学習活動の場として施設の貸出しを行っています。また、入間川小学校においては、生涯学習活動の場として学校施設の一部を開放しています。

生涯学習に関わる活動団体への団体ヒアリング結果では、参加者の高齢化や、新たな参加者が集まりにくい状況などが指摘されています。

またアンケート結果では、生涯学習の充実に向けて狭山市の行政に特に力を入れてほしいことについて、「高齢者や障害者が参加しやすいように配慮する」の割合が最も高くなっています。

今後は、学習機会の充実に向けて、子供から高齢者まで、また障害の有無等に関わらず、だれもが生涯学習活動に参加できる機会づくりを進めるとともに、市民の学習ニーズの多様化に対応するため、学習内容の充実を図る必要があります。また、生涯学習団体等の活性化に向けた取り組みの充実を図る必要があります。

#### 取り組みの方向性

- ◇子供から高齢者まで、また、障害の有無等に関わらず、だれもが生涯学習に取り組める機会づくりを推進します。
- ◇学習成果を発表する場の充実を図ります。
- ◇生涯学習団体の活性化に向けた支援を行います。

#### 具体的な取り組み

##### 1 学習の機会と場の充実

公民館や富士見集会所などにおいて、地域ごとの特色を活かした主催事業の充実や、入間川小学校の開放など、学習の機会と場の充実を図ります。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
生涯学習・社会教育に関する事業への参加者数	社会教育課、公民館、富士見集会所、博物館、図書館で実施する事業への参加者数	215,764人	226,000人

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
市民の生涯学習実施率	生涯学習を月1回以上行っている市民の割合	*32.6%	40.0%

※ 狭山市生涯学習基本計画策定のためのアンケート調査結果による

## 2 生涯学習ボランティアの活用の促進

生涯学習ボランティアの登録者を増やすとともに、登録制度を周知し、登録者が地域で活躍できる環境づくりを促進します。

## 3 生涯学習推進組織等の活動の促進

生涯学習推進組織の活動情報の提供や、活動場所の確保等を通じて、生涯学習推進組織等の活動の活性化を促進します。

## 4 公民館利用者の拡大の促進

だれもが参加しやすい講座やイベント等を開催し、公民館利用者の拡大を図ります。

## 5 公民館などへの青少年の参加促進

公民館などへの関心を高めるとともに、中学生以上の青少年を対象とした事業を充実することで、公民館事業への青少年の参加を促進します。

## 6 まちづくり出前講座の促進

市民と行政が一体となってまちづくりを進めることを目的に、各部署の市職員が依頼に応じて出向き、本市の施策や制度などの行政情報を積極的に提供する、まちづくり出前講座の実施を促進します。

## 取り組み2 生涯学習関連施設の機能やサービスの充実

### 現状と課題

公民館や富士見集会所では、学習室などの貸出しをとおして、市民に生涯学習の場の提供を行っています。また図書館では、情報発信の拠点として図書館資料を充実するとともに、様々な情報や資料に関する利用者からの問合せや相談などに適切に対応するためにレファレンスサービスを行っています。博物館では、常設展示のほか、定期的に企画展を開催するとともに、各種の講座や体験学習を実施して、市民の生涯学習活動を促進しています。

公民館や富士見集会所では、市民のニーズに合った学習の場の提供を推進することが求められており、公民館の今後のあり方についての検討を進める必要があります。

図書館では、市民の学習支援に向けて、レファレンスサービスの充実を図る必要があります。また博物館では、企画展などをより一層充実していく必要があります。

### 取り組みの方向性

◇公民館、図書館、博物館など生涯学習関連施設における施設運営の質の向上を図ります。

◇資料の貸出しや情報提供など、学習支援に向けたサービスの向上を推進します。

### 具体的な取り組み

#### 1 公民館などの機能やサービスの充実

利用のない部屋を学生等の勉強の場とする開放教室の設置や、生涯学習の場の提供など、公民館などの機能やサービスの充実を図ります。

#### 2 図書館の機能やサービスの充実

図書館資料やレファレンスサービスの充実を図るほか、イベントや講座の開催等、図書館の機能やサービスの充実を図ります。

#### 3 博物館の機能やサービスの充実

魅力ある特別展の開催や、狭山らしさを表現できる企画展の開催、各種講座、体験学習の実施等、博物館の機能やサービスの充実を図ります。

## 取り組み3 社会教育の充実

### 現状と課題

本市では、人権・平和・環境・情報化・少子高齢化・子育て・青少年・国際化などに関わる現代的課題や、地域のまちづくりなどに関わる課題等をテーマに、多様な講座や事業を展開しています。

また、これまで、公民館では、地域の歴史などを学習するための講座などを開催するとともに、図書館では、郷土資料の充実を図り、また、博物館では、常設展示や企画展示、講座などを開催し、これらをとおして、地域の歴史や文化に対する市民の理解の促進を図っています。

今後も、公民館、図書館、博物館をはじめとする生涯学習関連施設が連携し、市民の学習活動を促進する中で、現代的課題や地域課題に対する取り組み強化し、社会教育の充実を図る必要があります。また、学習をとおして地域に対する理解を醸成することにより、地域社会を担う人材の育成や地域活動への参加を促進していく必要があります。

### 取り組みの方向性

- ◇現代的課題や地域課題の解決に関する取り組みを強化し、社会教育の充実を図ります。
- ◇地域に対する理解を深める学習の機会や場を充実します。
- ◇地域社会を担う人材の育成と地域活動への参加を促進します。

### 具体的な取り組み

#### 1 現代的課題等に関する学習機会の充実

心豊かで住みよい地域社会をつくるために、公民館などにおける現代的課題や地域課題に対する取り組みを強化します。また、地域理解を深める学習機会の充実を図ります。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
現代的課題や地域課題に関する事業の実施件数	社会教育課、公民館における現代的課題や地域課題に関する事業の実施件数	178件	200件

#### 2 職員の資質の向上

現代的課題や地域課題に対する理解を深め、これら課題に関する学習プログラムを充実し、地域社会を担う人材の育成と地域活動への参加の促進を図るため、研修会等への参加をとおして、公民館などの職員の資質の向上を図ります。

## 取り組み4 生涯学習関連施設の改修・更新などの推進

### 現状と課題

公民館、図書館、博物館などの生涯学習関連施設の建物や設備などが老朽化する中で、これまでも必要な改修を行ってきました。

今後も、計画的な改修を行うとともに、老朽化が著しく、バリアフリー等の面でも課題のある施設については、安全で快適な生涯学習環境の充実に向けて、更新に取り組んでいく必要があります。

### 取り組みの方向性

◇公民館、図書館、博物館などの生涯学習関連施設の建物や設備の改修や更新を計画的に進めます。

### 具体的な取り組み

#### 1 公民館の改修・更新の推進

公民館及び富士見集会所について、建物や設備の改修を計画的に進めます。また、新狭山公民館及び入曽公民館の更新事業を推進します。

#### 2 図書館の改修の推進

建物や設備の改修を計画的に進めます。

#### 3 博物館の改修の推進

建物や設備の改修を計画的に進めるとともに、常設展示の改修に段階的に取り組めます。



## 取り組み5 人権教育と平和教育の充実

### 現状と課題

社会教育課では、市民の人権に対する正しい理解と人権尊重意識の高揚を図るため、人権教育推進協議会\*<sup>①</sup>と連携して、人権教育研修会\*<sup>②</sup>、人権教育実践研究会\*<sup>③</sup>、企業人権教育研修会\*<sup>④</sup>などを開催しています。また、市長部局との共催事業として人権問題講演会を開催しています。

公民館では、人権に関わる講座などを開催するとともに、富士見集会所では、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けた事業を実施しています。さらに各小・中学校のPTAに委託して人権教育学級を開催し、保護者に対して人権の正しい理解と人権尊重意識の高揚を推進しています。

また、本市では平成元年に平和都市宣言を行い、恒久平和の実現に向けて、平和関連事業に取り組んでいます。中央図書館では、夏休み期間中に平和関連資料コーナーを開設し、公民館や富士見集会所では、現代的課題等への取り組みの一環として平和意識を高める講座などを開催しています。

今後も、同和問題をはじめとする様々な人権問題への理解と解決や戦争の悲惨さや平和の尊さに関する意識の高揚を図ることが求められています。

### 取り組みの方向性

◇市民の人権に対する正しい理解と人権尊重意識の高揚を図るため、人権教育を充実します。

◇市民の平和についての理解の促進に向けて、平和学習の機会を充実します。

---

\*<sup>①</sup>人権教育推進協議会

狭山市における人権教育の推進を図り、人権意識の高揚と明るい社会づくりに寄与することを目的とする協議会。

\*<sup>②</sup>人権教育研修会

学校教育・社会教育・社会福祉の関係者を対象に、同和問題をはじめとする様々な人権問題を自分の課題として捉え、積極的に解決して行く意欲と姿勢を養うことを目的とする研修会。

\*<sup>③</sup>人権教育実践研究会

学校教育及び社会教育の人権教育の現状を知り、それぞれの分野で人権教育を実践に活かしていくための研究会。

\*<sup>④</sup>企業人権教育研修会

企業における人権研修・啓発活動を目的に、企業内の指導的役割を担う管理職や人権担当者を対象に行う研修会。

## 具体的な取り組み

### 1 人権教育研修会などの開催

市民や事業者等に対する人権教育の充実に向けて、人権教育推進協議会と連携して、人権教育研修会、人権教育実践研究会、企業人権教育研修会などを開催します。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
人権教育に関する事業への参加者数	人権に関する研修会・講座などへの参加者数	4,070人	4,800人

### 2 公民館の人権教育事業の推進

市民に対する人権教育の充実に向けて、人権に関わる講座の開催など、公民館において、人権教育事業を推進します。

### 3 富士見集会所の人権教育事業の推進

市民に対する人権教育の充実に向けて、設置目的に沿って、富士見集会所において人権に関わる様々な事業を実施します。

### 4 人権教育学級の開催

保護者に対する人権教育の充実に向けて、各小・中学校のPTAに委託して人権教育学級を開催します。

### 5 平和事業の開催

戦争体験を次世代に引き継ぎ、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるために、公民館等でパネル展、展示会、講演会等の平和意識の高揚につながる事業を開催します。

## 取り組み6 家庭や地域の教育力の向上

### 現状と課題

家庭や地域と連携して、家庭や地域の持つ教育力の向上を図り、これらを青少年の健全育成に活かすことが重要です。

社会教育課では、各幼稚園の保護者会や各小・中学校のPTAに委託して、家庭教育学級を開催するとともに、狭山市PTA連合会との共催により、家庭教育合同研修会\*を開催し、家庭の教育力の向上に取り組んでいます。

また、地域の教育力を活かす取り組みとして、地域住民などの協力により、地域子ども教室を各地区で開設し、様々な体験や交流をとおして、青少年の健全育成に取り組んでいます。

今後も、家庭や地域の青少年育成活動などと連携して、家庭や地域の教育力の向上に取り組んでいく必要があります。

### 取り組みの方向性

◇学校や生涯学習関連施設等において、家庭の教育力の向上に取り組めます。

◇市民活動団体と連携して、地域の教育力の向上に取り組めます。

### 具体的な取り組み

#### 1 家庭の教育力の向上

家庭教育学級や家庭教育合同研修会、また、公民館などにおける家庭教育に関する講座などを開催し、家庭教育の自主性を尊重しつつ、家庭の教育力の向上に取り組めます。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
家庭教育に関する事業の実施件数	家庭教育学級などの事業の実施件数	54件	73件

#### 2 地域の教育力の向上

地域子ども教室や子ども会育成会連絡協議会などの活動や、公民館などにおける青少年教育に関する講座などをとおして、地域の教育力の向上に取り組めます。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
地域子ども教室への参加者数	地域子ども教室(広域事業を含む)への参加者数	11,892人	17,000人

\*家庭教育合同研修会

学校・家庭・地域社会の連携を深め、地域ぐるみの教育の推進と家庭における教育力の向上を図るために、狭山市内の学校（PTA）を4ブロックに分けて開催する研修会。

## 取り組み7 芸術・伝統文化活動の推進

### 現状と課題

本市では、生涯学習関連施設などを通じて、芸術・伝統文化に関わる多様な活動が市民主体で行われています。また、各種の芸術・伝統文化団体により組織された狭山市文化団体連合会が、市民芸術祭などにおいて様々な分野の展示や公演を行うとともに、青少年文化体験フェスタを開催し、青少年の芸術・伝統文化に対する理解の醸成に取り組んでいます。

また、公民館などでは、毎年、市民文化祭が開催され、日頃の活動成果の発表の場となっています。また、狭山稲荷山公園では、さやま大茶会\*が開催され、多くの流派により、茶道が披露されるといった狭山市らしい特徴的な活動が展開されています。

今後も、市民の自主的な活動を促進する中で、本市の芸術・伝統文化の振興に取り組んでいく必要があります。

### 取り組みの方向性

- ◇芸術・伝統文化活動への市民の参加機会の拡充に取り組むとともに、狭山市文化団体連合会の活動を支援します。
- ◇芸術・伝統文化活動の成果を発表する場を充実します。

### 具体的な取り組み

#### 1 市民の文化活動の促進

公民館などで活動する芸術・伝統文化団体の情報を発信するなどして、芸術・伝統文化活動への市民の参加機会の拡充と活動の促進に取り組めます。また、芸術・伝統文化活動団体の活動を支援し、市民の自主的な芸術・文化活動を促進するとともに、青少年に対する芸術・伝統文化の理解や継承を図るなど、市民の文化活動を促進します。

#### 2 文化活動の発表の場の充実

市民芸術祭や市民文化祭、さやま大茶会の開催など、芸術・伝統文化活動の成果を発表する場の充実を図ります。

---

\*さやま大茶会

日本の伝統文化である茶道への理解を深めるとともに、「茶どころさやま」のイメージアップを図ることを目的に開催している野点の茶会。平成2年度から狭山市の単独事業として実施している。

## 取り組み8 文化財等の保存・継承と活用の促進

### 現状と課題

本市には、8件の埼玉県指定の文化財、47件の狭山市指定の文化財をはじめ、貴重な文化財が数多く残されています。

これらの指定文化財の保存・継承に取り組む活動を支援するとともに、これに要する経費に対して助成を行うなどして、貴重な文化財の保存・継承に取り組んでいます。また、指定文化財の公開や文化財に関する講座の開催などをおして、市民の郷土の歴史や文化に対する理解と文化財に対する愛護意識の醸成を図っています。

今後も、指定文化財の保存・継承に取り組むとともに、新たに保存・継承すべき文化財の調査研究に取り組む必要があります。また、郷土の歴史や文化を理解し、文化財の保存を図るとともに、市民が文化財に触れ、地域への理解と愛着が深まるよう、積極的な活用に向けた取り組みの充実が課題です。

### 取り組みの方向性

- ◇指定文化財の保存・継承に取り組んで、活動を支援・助成することにより、貴重な文化財を後世に伝えていくとともに、新たに保存・継承すべき文化財の調査研究を進めます。
- ◇指定文化財の公開などをおして、市民の郷土の歴史や文化に対する理解と文化財に対する愛護意識を醸成します。
- ◇文化財の積極的な活用に向けた取り組みを充実します。

### 具体的な取り組み

#### 1 文化財の保存・継承

指定文化財や獅子舞、祭囃子などの民俗芸能の保存・継承に取り組む活動を支援するとともに、その保存・継承に要する経費に対して助成を行うなどして、貴重な文化財を後世に伝えていきます。また、文化財資料の収集・整理などを進めるとともに、新たに保存・継承すべき文化財の調査研究を進めます。

#### 2 文化財愛護意識の醸成

指定文化財の公開や文化財に関する講座の開催などをおして、市民の郷土の歴史や文化に対する理解と文化財に対する愛護意識を醸成します。

#### 3 文化財等を活用した郷土学習の充実

公民館において、地域の歴史や文化などに関する講座を開設するとともに、図書館において、郷土資料の収集と閲覧、さらに博物館において、郷土資料の調査研究や地

域の歴史文化に関する講座を開設するなど、各生涯学習関連施設において積極的に文化財等を活用し、市民の郷土に対する理解を促進します。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
文化財を活用した事業件数	文化財を活用した事業件数	3件	6件

## 取り組み9 大学などとの連携による学習機会の充実

### 現状と課題

本市では地域の大学などと連携し、市民の多様なニーズに対応した学習内容や学習機会の提供に努めてきました。大学などが開催する公開講座などについては、公式ホームページなどをおして市民へ周知し、参加を促進しています。

また、地域の大学等との共催による児童を対象にした「子ども大学」の開校、また、公民館などの事業にも大学や企業などの協力を得ています。

今後も、大学などと連携し、市民の生涯学習への参加機会や学習メニューを拡充していく必要があります。

### 取り組みの方向性

◇大学などと連携して、市民の生涯学習への参加機会や学習内容を充実します。

### 具体的な取り組み

#### 1 大学との連携

大学が開催する公開講座などの情報を公式ホームページなどに掲載して、市民へ周知するとともに、参加を促進します。また、公民館などの講座の開設において、大学と連携し、講師を派遣するなど、市民が受講可能な講座内容の充実を図ります。

#### 2 企業との連携

地域の企業と連携して、講師の派遣や企業視察などをおして、市民の学習メニューの充実を図ります。

## 施策3 生涯学習の成果の活用（活かす）

### 取り組み1 学校との連携の推進

#### 現状と課題

本市では、学習成果を学校の教育活動に活かすため、狭山市学校支援ボランティアセンターを設置して、各小・中学校へ学習支援のボランティアを派遣しています。また、各小・中学校に設置されている学校応援団では、学校や地域の特色を活かして、学習支援、校内環境の整備、登下校時の安全見守り、部活動の指導など、様々な分野でボランティア活動に取り組んでいます。さらに公民館などで、学びをとおして地域貢献できる人材を育成する事業を実施しています。

アンケート調査の結果では、今後、学習の成果を自分以外のために活かしたいと思うかについて「活かしたいと思う」と「どちらかといえば活かしたいと思う」を合わせた割合が約5割で、特に10歳代～30歳代で割合が高くなっています。

今後も、学校支援ボランティアの登録促進と周知に取り組むとともに、学校と連携して、ボランティアの活躍の場を広げていく必要があります。また、学校応援団活動についても地域への周知に取り組み、参加を促進するとともに、学校や地域の特色を活かした活動の拡充を図る必要があります。

そして、公民館などにおいて、地域の人材育成を目的とした事業を学校と連携して行う中で、青少年の健全育成につなげていく必要があります。

#### 取り組みの方向性

- ◇学校支援ボランティアの登録を促進するとともに、小・中学校と連携して、ボランティアの活動の場の拡充に取り組めます。
- ◇各小・中学校や地域の特色を活かして、学校応援団の活動の場の拡充に取り組めます。
- ◇公民館、図書館、博物館などで学んだ成果を、学校支援活動につなげます。
- ◇学校支援ボランティア、学校応援団、地域子ども教室、子ども会育成会連絡協議会など、学校や子供たちを支える地域の様々な主体が連携し、効果的に学校教育や子供たちの活動を支える体制づくりを進めます。



## 具体的な取り組み

### 1 狭山市学校支援ボランティアセンターの充実

ボランティアの登録を促進するとともに、学校と連携して学校支援ボランティア活動の充実に取り組みます。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
学校支援ボランティアの派遣人数	学校支援ボランティアの小学校及び中学校の派遣実人数	372人	500人

### 2 学校応援団活動の充実

保護者や地域住民など多様な人材による学習成果の活用に向けて、学校応援団への参加を促進するとともに、学校と連携して活動の場の充実に取り組みます。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
学校応援団への参加者数	学校応援団への延べ参加者数	51,562人	55,000人

### 3 学校教育との連携

公民館や図書館、博物館などが小・中学校と連携し、青少年を対象とした事業を充実する中で、学校教育への支援に取り組みます。

### 4 学校と家庭・地域の連携体制の構築

学校と家庭や地域が組織的に連携し、地域の人々や団体をコーディネートすることで、学習の成果を学校教育に活かすことができる支援体制づくりを推進します。

## 取り組み2 市民活動との連携の促進

### 現状と課題

本市では、これまで公民館などで現代的課題や地域課題をテーマとした講座など、生涯学習に関する各種の事業を実施し、講座の修了生が学習の成果を市民活動の中で活かすことができるよう、地区センターの事業と連携するとともに、各種の市民活動団体と連携を図ってきました。また、生涯学習の成果を発表する場として、市民文化祭などを開催しています。

一方で、自らが有する知識や技能を活かして、生涯学習の講師などを務める意欲のある人をボランティアとして登録する生涯学習ボランティア制度の周知と活用の促進を図るとともに、図書館では、各種のボランティアグループによる読み聞かせや映画会、博物館では、ボランティアによる収蔵資料の整理や展示物の制作などが行なわれています。

今後も、市民活動団体と連携して、学習の成果を地域社会に活かすことができる活動を促進するとともに、これらをとおして市民活動を担う人材を確保していく必要があります。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、学習の成果を地域社会に活かす仕組みとして、ボランティア登録の拡充と、ボランティアの活躍する機会づくりを推進する必要があります。

### 取り組みの方向性

◇市民活動団体や地区センターと連携して、生涯学習の成果を市民活動や地区センター事業の中で活かします。

◇生涯学習ボランティア制度について、制度の周知と活用の促進を図ります。

### 具体的な取り組み

#### 1 市民活動との連携の促進

市民活動団体等と連携して、生涯学習の成果を活かした活動をより一層促進し、市民活動を担う人材を確保していきます。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催も視野に入れ、様々な場面で学習の成果を地域社会に活かすことができるよう、連携を促進します。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
生涯学習の成果を活かしたことがある割合	生涯学習の成果を自分以外のために活かしたことがある市民の割合	*21.4%	30.0%

※ 狭山市生涯学習基本計画策定のためのアンケート調査結果による

## 2 狭山市市民文化祭の充実

地域文化の高揚と地域文化活動の活性化に向けて、文化活動の成果を広く市民の前に発表し、そこに集う市民相互の親睦・交流が期待される狭山市市民文化祭を充実します。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
市民文化祭への参加団体数	市民文化祭に参加した団体数	636団体	670団体

## 3 生涯学習に関するボランティア活動の充実

生涯学習の成果を活かす取り組みとして、生涯学習ボランティア制度への登録の促進と、登録講師の活動の場の確保を図ります。また、生涯学習の成果を活かす機会として、公民館、図書館や博物館等におけるボランティア活動をより一層促進します。

指標	内容	実績値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
生涯学習ボランティアの活動件数	生涯学習ボランティアが行った学習会などの講師活動件数	360件	450件

## 4 地区センターとの連携

地域における様々な活動や行事への参加など、生涯学習の成果を地域に即してまちづくりに活かせるよう、地区センターとの連携を推進します。

## 5 さやま市民大学との連携

地域課題の解決に向けた取り組みなどを通じて、生涯学習の成果を地域に活かす協働による取り組みの促進に向けて、様々な学習メニューを提供するさやま市民大学との連携を推進します。